

令和6年度

青森県中学校教育課程研究集会

【音楽科部会】

黒石市立黒石中学校

八木橋篤希

基本的な主題

単元や題材のまとまりの中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、「深い学び」へ向かう学習指導と学習評価の工夫・改善

研究主題

生徒一人一人が、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習指導と学習評価の工夫・改善

発表の流れ

- 1 授業の概要について
- 2 授業の様子について
- 3 評価の実際について

1 授業の概要について

題材名

「曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう」

教材名

歌曲「魔王」 シューベルト 作曲

学習指導要領の内容

第1学年 A表現(3)創作 ア イ(イ) ウ

B鑑賞(1)鑑賞 ア(ア) イ(ア)

[共通事項] 音楽を形づくっている要素

音色 リズム 速度

用語や記号など

調 三連符 pp ff

題材の目標

- (1) 音楽が生み出す雰囲気や表情などと、音楽の構造や詩の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択の技能を身に付ける。
(知識:創作、鑑賞 技能:創作)
- (2) 音色、リズム、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
(思考力、判断力、表現力等:創作、鑑賞)
- (3) 旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。
(学びに向かう力、人間性等:創作、鑑賞)

題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 音素材の特徴及び音の重なり方などの構成上の特徴について表したいイメージと関わらせて理解している。(創作)</p> <p>技 創意工夫を生かした表現で、音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。(創作)</p> <p>知 「魔王」の曲想と音楽の構造や詩の内容との関わりを理解している。(鑑賞)</p>	<p>思 音色、リズム、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。(創作)</p> <p>思 「魔王」の音色、リズム、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(鑑賞)</p>	<p>態 「魔王」の旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(創作・鑑賞)</p>

評価のポイントと指導の手立て

	おおむね満足できる(B)	十分満足できる(A)	努力を要する生徒(C)への手立て
知識技能	<p>○音楽をつくる過程において、音素材や音の重なり方の特徴を表したいイメージと関わらせて捉えている。(知 創作)</p> <p>○表したいイメージをもち、詩の内容に沿った音の選択や組合せを工夫した音楽をつくり、創作で表している。(技 創作)</p> <p>○曲想と音楽の構造や詩の内容との関わりを概ね理解している。(知 鑑賞)</p>	<p>○音楽をつくる過程において、表したいイメージと関わらせて捉えた音素材や音の重なり方の特徴を具体的に捉え、記述している。(知 創作)</p> <p>○表したいイメージを創作で表すために既習事項の活用や比喩など、具体的に、表したいイメージとつづいた作品とが整合している。(技 創作)</p> <p>○曲想と音楽の構造や詩の内容との関わりについて、妥当な内容を具体的に記述でまとめ、創作で表している。(知 鑑賞)</p>	<p>○音の重なりを試してみたり、わかったことについて教師と一緒に確認したり、対話することでヒントを与える。(創作)</p> <p>○教科書に掲載されている内容や参考のできる資料、または既習事項について一緒に確認し、個別にアドバイスする。(鑑賞)</p>
思考力判断力表現力	<p>○音色、リズム、速度について、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、思いや意図をもって音楽をつくっている。(思 創作)</p> <p>○曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(思 鑑賞)</p>	<p>○音色、リズム、速度について、知覚したことと感受したこととの関わりについて、音楽を形づくっている要素を踏まえるなど具体的に考え、音楽をつくっている。(思 創作)</p> <p>○曲や演奏に対する評価とその根拠について、自分の考えを具体的にもち、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(思 鑑賞)</p>	<p>○例えば強弱が変わると感じ方がどう変わるのかなど教師と一緒に確認することで参考にさせる。(創作)</p> <p>○他の考えや教師の解説から自分の考えに近いものを挙げさせたり、登場人物の心情と一緒に確認したりしながら、個別にアドバイスする。(鑑賞)</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>○学習課題や学習活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に取り組んでいる。</p>	<p>○学習課題や学習活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に取り組んでいるとともに、興味・関心からの疑問や発見について記述している。</p>	<p>○授業のねらいと一緒に確認し、他のよさに気付かせる。または、(A)と判断される生徒の学習状況を紹介するなど丁寧に働きかける。</p>

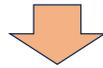
音楽的な見方・考え方を働かせた「深い学び」とは

歌曲「魔王」の学習では・・・

各登場人物の登場場面を音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、その音楽によって喚起される自己のイメージや感情などに関連付ける

音楽によって喚起されたイメージや感情などを、自分なりに言葉で言い表したり書き表したりして音楽を評価するなど能動的な活動につなげる

生徒自ら問いを見いだしたり、自らの考えを形成したりし、意味や価値を創造していく



歌曲「魔王」の魅力に迫る

「深い学び」のために留意したこと

- 学びの深まりをつくりだすために、生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるかのバランスや状況の考慮
- 他の考えやイメージに触れる場面、共有する場面の設定
- ICTを活用し、字幕のあるものと字幕のないものや名演といわれる演奏の鑑賞
- 教科内でのつながり: 「春」のソネット(情景描写)
歌舞伎お黒御簾音楽(情景、心情描写)
- 一人で何役もこなす日本の伝統文化: 落語(国語、道徳)

指導と評価の計画

時	●学習内容 ・学習活動 【形態】	観点	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ●「魔王」の詩に関する概要を理解し、登場人物の表現や心情の変化をイメージする。【全体・グループ】 ・ドイツのゲーテの作品であること、作られた時代は、日本では江戸時代後期であることを知る。 ・詩だけ書かれたものを読み、言葉の意味も理解する。 ・登場人物の心情を話し合い、その変化についても読み取る。 ・音素材や音の重なり方の特徴を表したいイメージと関わらせて捉えている。 	知	知 <ワークシート> 態 <活動観察> <ワークシート>
2	<ul style="list-style-type: none"> ●「魔王」の世界観やそれぞれの登場人物の特徴を捉え、効果音を創作する。【グループ】 ・それぞれが登場する場面ごとに音・効果音を付ける。(朗読劇) ・各場面の音色、リズム、速度をイメージする。 ・準備された道具や楽器をどの場面でもどのように使うか話し合う。 〔バスドラム、スネアドラム、グロッケン、ピアノ、タンバリン、鈴、カスターネット、マラカス、ビー玉、おはじき、洗濯板、鳴子〕 ・決まったことをシートに記入する。 	知・創作	知

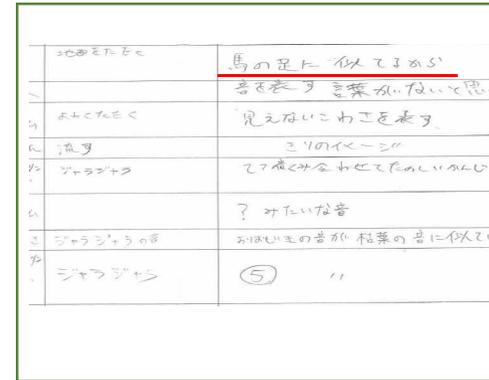
時	●学習内容 ・学習活動 【形態】	観点	評価方法
2	<ul style="list-style-type: none"> ●イメージした自分たちの「魔王」を表現する。【全体】 ・グループごとに発表する。 ・他グループの発表から、工夫している部分や新たな発見などを感じ取る。 	技・創作	技・思 <発表活動> <ワークシート> 知 <ワークシート> 態 <活動観察> <ワークシート>
3	<ul style="list-style-type: none"> ●シューベルトの「魔王」を鑑賞する。【全体】 ・詩の内容と曲想との関わりについて考え、自分たちのつくった「魔王」との違いを探る。 ・音色、リズム、速度について、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 	知・鑑賞	思 <ワークシート> 態 <活動観察> <ワークシート>

3 評価の実際について

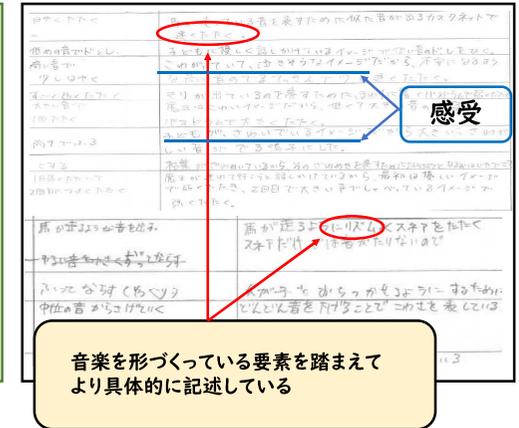
思考・判断・表現（創作）

知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。

おおむね満足できる (B)	十分満足できる (A)
<p>音色、リズム、旋律、強弱について、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、思いや意図をもって音楽をつくっている。</p> <p>【判断するポイント】 知覚したことと感受したことに関わりをもたせながら、自分なりに思いや意図をもって音楽をつくっている。</p>	<p>音色、リズム、旋律、強弱について、知覚したことと感受したこととの関わりについて、音楽を形づくっている要素を踏まえるなど具体的に考え、音楽をつくっている。</p> <p>【判断するポイント】 知覚したことと感受したことが具体的根拠をもって関連付けられ、音楽をつくるうえでそれが生かされている。</p>



おおむね満足できる (B)

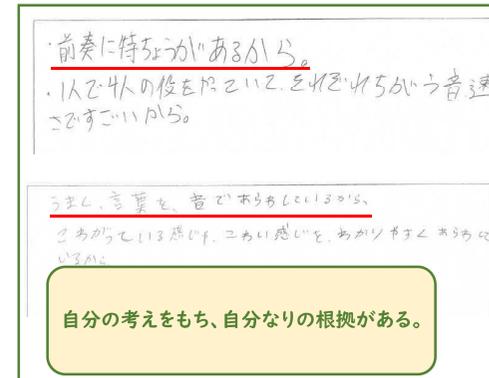


十分満足できる (A)

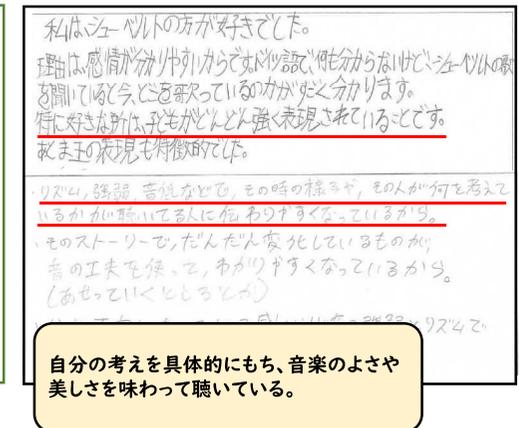
思考・判断・表現（鑑賞） ②

曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。

おおむね満足できる (B)	十分満足できる (A)
<p>曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>【判断するポイント】 自分の考えをもち、それが自分なりの根拠に基づいている。</p>	<p>曲や演奏に対する評価とその根拠について、自分の考えを具体的にもち、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>【判断するポイント】 シューベルトの「魔王」の魅力について自分の考えをもち、根拠が具体的である。</p>



おおむね満足できる (B)



十分満足できる (A)

今回の発表を通して

- ・記述を評価する場合は、観察(生徒のつぶやき)と合わせた評価となるよう留意が必要である。
 - ※静寂・無音を取り入れた生徒→記述していなかった
- ・記述が苦手な生徒には、聞き取りをするなどして、会話によって学習状況を把握する必要がある。また、模範となる意見を紹介して、次回に生かせるようにする。
 - ※チェックするときになって意味が通らなくて確認したい、とか、乱筆であるなど。
- ・発問を工夫することが必要である。理解へのアプローチのしかたを複数もつ。
 - ※発問は、一つの言い回しではなく、いくつか言い方を変えて発問する。



今後について

- ・生徒一人一人の学習状況を可能な限りの確に把握し、その把握した内容をもとにして、生徒にフィードバックし生徒の学習改善、または、私自身の指導改善につなげていきたい。
- ・生徒の学習状況を把握するためには、日々の授業が大事であり、常に改善、見直しをしていこうと考えている。

シューベルトの「魔王」は、生徒たちにはかなりの割合で知られている。そのため、知らない前提で授業することは、もはや不可能(?)。YouTubeでは、「魔王」弾いてみた、歌ってみた、があげられており、曲調や演奏形態などは知っている生徒も多い。裏を返せば、シューベルトの「魔王」の魅力と言えるのではないか。

ご清聴ありがとうございました

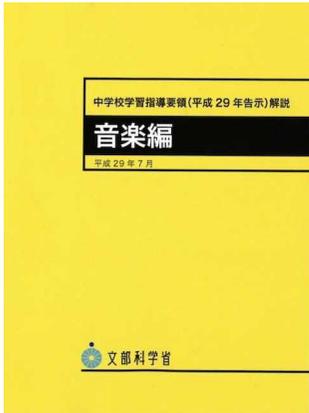
令和6年度

青森県中学校教育課程研究集会

【音楽科部会 指導助言】

青森県総合学校教育センター
指導主事 道川 里奈

中学校学習指導要領
(平成29年告示) 解説 音楽編



「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料



流れ

- 1 「音楽科」に関わる主題について
- 2 学習指導と学習評価について
= 指導と評価の一体化
- 3 授業の様子について

2

3

「音楽科」に関わる主題

生徒一人一人が、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習指導と学習評価の工夫・改善

1 主題について①

「音楽的な見方・考え方」とは

音や音楽のよさや美しさなどの質的な世界を価値あるものとして感じ取る時の心の働き

音楽的な見方・考え方とは「音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること」

音や音楽は、そこに鳴り響く音響そのものを対象として、音楽がどのように形づくられてるか、また音楽をどのように感じ取るかを明らかにしていく過程を経ることによって捉えることができる

その支えとなるものが、音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を**知覚**し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を**感受**することである

関わりなどについて考えることによって、音楽表現を創意工夫したり音楽を解釈し評価したりするなどの学習は一層深まっていく

(中学校学習指導要領解説 以下解説と表記 p.10)

どの生徒にも共通な認識

生徒によって感じ方が違う

→見方・考え方は、学びの深まりの鍵

4

5

1 主題について②

「生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる資質・能力」とは (1)、(2)、(3) を指す。

(解説 p.11)

(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、
創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

知識
及び
技能

(2) 音楽表現を創意工夫することや、
音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

思考力，判断力，表現力等

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、
音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、
音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

学びに向かう力，人間性等

(解説 p.13~15)

学習の過程では、(中略)、学んでいること、学んだことの意味や価値などを生徒が自覚できるよう指導することが大切である。

(解説 p.12)

「音楽科」に関わる主題

再掲

生徒一人一人が、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習指導と学習評価の工夫・改善

2 指導と評価について①

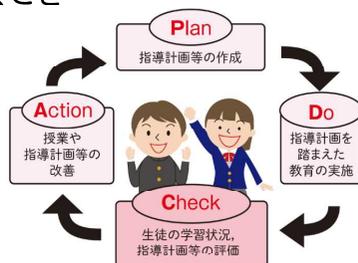
指導と評価の一体化

学習評価の改善の基本的な方向性

① 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと

② 教師の指導改善につながるものにしていくこと

③ これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと

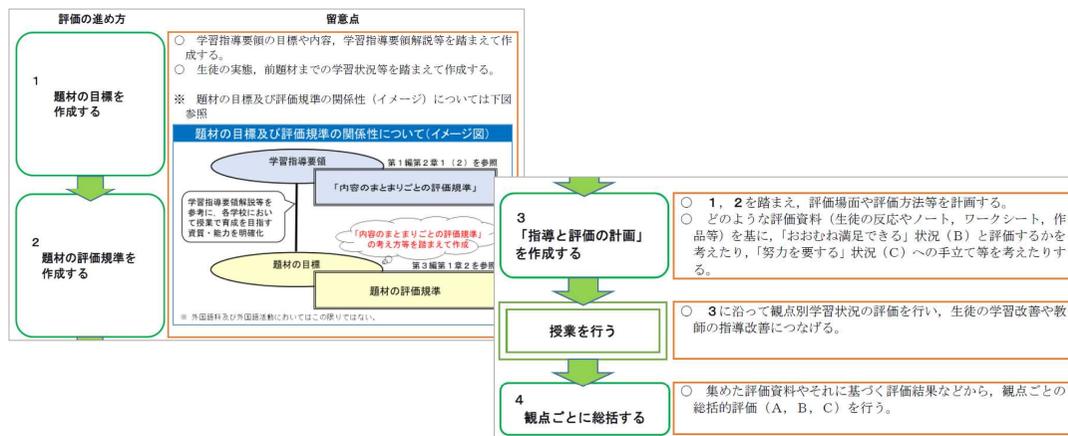


「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
中学校音楽p.5、巻末資料

2 指導と評価について②

学習評価の進め方

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
中学校音楽p.43



1 授業の概要について

題材名

「曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう」

教材名

歌曲「魔王」 シューベルト 作曲

学習指導要領の内容

第1学年 A表現(3) **創作** ア イ(イ) ウ

B鑑賞(1) **鑑賞** ア(ア) イ(ア)

[共通事項] 音楽を形づくっている要素

音色 **リズム** **速度**

用語や記号など

調 三連符 pp ff

1 題材の目標を作成する

(解説 p.140,141)

		(第1学年)
A 表現	「思考力、判断力、表現力等」	(3) 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。
	「知識」	イ 次の(ア)及び(イ)について、表したいイメージと関わらせて理解すること。 (ア) 音のつながり方の特徴 (イ) 音楽素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴
	「技能」	ウ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。
B 鑑賞	「思考力、判断力、表現力等」	(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(イ)までについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 イ 曲や演奏に対する評価とその根拠 (ア) 生活や社会における音楽の意味や役割 (イ) 音楽表現の共通性や固有性
	「知識」	イ 次の(ア)から(イ)までについて理解すること。 (ア) 曲想と音楽の構造との関わり (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり (イ) 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性
	「共通事項」	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。
(共通事項)	「思考力、判断力、表現力等」	イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。
	「知識」	

学習指導要領 指導事項との関連
A表現(3)創作 ア、イ(イ)、ウ
B鑑賞(1)鑑賞 ア(ア)、イ(ア)
(共通事項) (1)ア
(生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素:「音色」、「リズム」、「速度」)

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(中学校音楽)の事例4(p.75~)が参考になります

1 題材の目標を作成する

題材の目標

(1) 音楽が生み出す雰囲気や表情などと、音楽の構造や詩の内容との関わりについて理解するとともに、**創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択の技能を身に付ける。**
(知識:創作、鑑賞 技能:創作)

鑑賞イ(ア)
※(創作イ(イ))についても含む目標

創作ウ
知識及び技能

[共通事項](1)ア
題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を適切に選択して置き換える

(2) **音色、リズム、速度**を知覚し、それらの働きが生み出す**特質や雰囲気**を感じながら、**知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠**について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
(思考力、判断力、表現力等:創作、鑑賞)

創作ア
鑑賞ア(ア)
思考力、判断力、表現力等

取り扱う教材曲の特徴や学習内容など、興味・関心をもたせたい事柄

(3) **旋律の雰囲気や歌い方の違い**に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に**創作や鑑賞の学習活動**に取り組む。
(学びに向かう力、人間性等:創作、鑑賞)

題材を学んだあとの姿

学びに向かう力、人間性等

小学校(解説p135~138)	中学校(解説p116,117)
音楽を形づくっている要素	音色
	リズム
ア 音楽を特徴づけている要素	速度
	旋律
	テクスチャ
	強弱
	形式
	構成
音楽を形づくっている要素	反復
	呼びかけとこたえ
イ 音楽の仕組み	変化
	音楽の縦と横と関係

小学校と中学校における「音楽を形づくっている要素」の扱い方

題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 音楽素材の特徴及び音の重なり方などの構成上の特徴について表したいイメージと関わらせて理解している。(創作)</p> <p>技 創意工夫を生かした表現で、音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。(創作)</p> <p>知 「魔王」の曲想と音楽の構造や詩の内容との関わりを理解している。(鑑賞)</p>	<p>思 音色、リズム、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。(創作)</p> <p>思 「魔王」の音色、リズム、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(鑑賞)</p>	<p>態 「魔王」の旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(創作・鑑賞)</p>

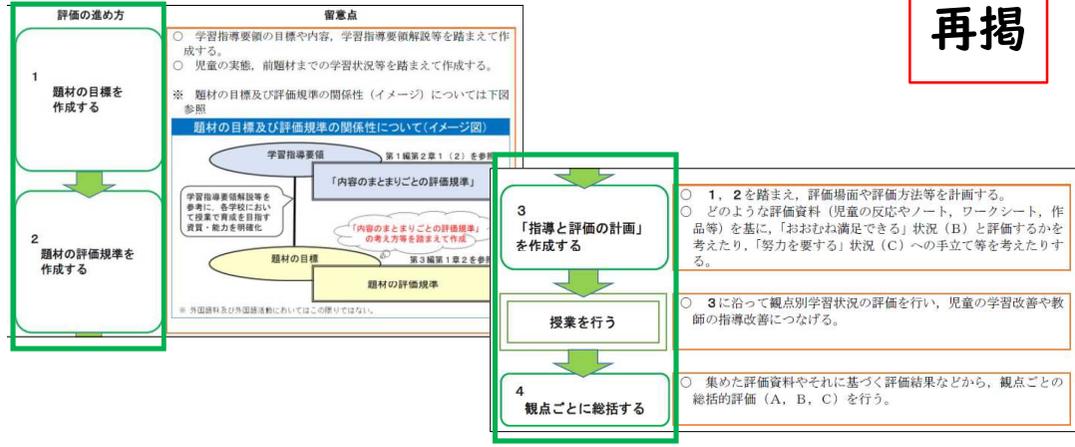
2 題材の評価規準を作成する

3 「指導と評価の計画」を作成する

指導と評価の計画

時	●学習内容	・学習活動	【形態】	観点	評価方法
1	●「魔王」の詩に関する概要を理解し、登場人物の表現や心情の変化をイメージする。【全体・グループ】	・ドイツのグーテの作品であること、作られた時代は、日本では江戸時代後期であることを知る。 ・詩だけ書かれたものを読み、言葉の意味を理解する。 ・登場人物の心情を話し合い、その変化についても読み取る。 ・音楽素材や音の重なり方の特徴を表したいイメージと関わらせて捉えている。		知 態	<ワークシート> 態 <活動観察> <ワークシート>
2	●「魔王」の世界観やそれぞれの登場人物の特徴を捉え、効果音を創作する。【グループ】	・それぞれが登場する場面ごとに音・効果音を付ける。(朗読劇) ・各場面の音色、リズム、速度をイメージする。 ・準備された道具や楽器をどの場面でものよう使うか話し合う。(バスドラム、スネアドラム、グロッケン、ピアノ、タンバリン、鈴、カステネット、マラカス、ビー玉、おはじき、洗濯板、鳴子) ・決まったことをシートに記入する。		知・創作 思・創作 知・鑑賞	技・思 <発表活動> <ワークシート> 知 <ワークシート> 態 <活動観察> <ワークシート>
3	①シューベルトが「魔王」に施した工夫について考える。【全体】	・登場人物の心情の変化、音楽を形づくっている要素などからの視点でシューベルトの工夫を読み取る。		思・鑑賞 態	知 <ワークシート> 態 <活動観察> <ワークシート>
	②シューベルトの「魔王」の魅力を探る。【個人】	・今もなお人を惹きつけるシューベルトの「魔王」について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わう。		思・鑑賞 態	知 <ワークシート> 態 <活動観察> <ワークシート>

学習評価の進め方



主題の視点①：「音楽的な見方・考え方」と「深い学び」

音楽的な見方・考え方を働かせた「深い学び」とは

歌曲「魔王」の学習では・・・

- 各登場人物の登場場面を音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、その音楽によって喚起される自己のイメージや感情などに関連付ける
- 音楽によって喚起されたイメージや感情などを、自分なりに言葉で言い表したり書き表したりして音楽を評価するなど能動的な活動につなげる

生徒自ら問いを見いだしたり、自らの考えを形成したりし、意味や価値を創造していく

歌曲「魔王」の魅力に迫る

- 芸術教育の在り方
- ・プロセスを一層重視し
 - ・見方・考え方を働かせ
 - ・3つの資質・能力の育成とともに
 - ・豊かな感性や
 - ・新しい意味や価値をつくりだす創造性

3 授業の様子について⑥

鑑賞領域における「**思考力、判断力、表現力等**」

小学校〔第5学年及び第6学年〕

鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。

(小学校解説 p.108)

例えば、「この曲は、はじめと終わりに打楽器の激しいリズムと金管楽器の力強い旋律が繰り返される生き生きとした音楽で、聴いていると、自分も前向きに取り組もうという気持ちになれるから好きだ」など、曲全体を見通しながら、曲や演奏のよさなどについて考えをもって判断し、曲全体を味わって聴くこと

中学校〔第1学年〕

鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

(中学校解説 p.58)

例えば、快い、きれいだといった初発の感想のような表層的な捉えに留まることなく、鑑賞の活動を通して習得した知識を踏まえて聴き返し、その音楽の内容を価値あるものとして自らの感性によって確認する主体的な行為

22

3 授業の様子について⑦

鑑賞の学習

鑑賞の指導においては、音楽を自分なりに評価しながら、そのよさや美しさを味わって聴く力を育てることが大切であり、言葉で説明したり、批評したりする活動はそのための手段であることに留意する必要がある。したがって、生徒一人一人が音楽を自分なりに評価する活動と、評価した内容を他者に言葉で説明したり、他者と共に批評したりする活動を取り入れることによって、鑑賞の学習の充実を図ることができるよう配慮することが求められる。

(中学校解説 p.57)

23

3 授業の様子について⑧

鑑賞の学習

言葉で説明する際には、対象となる音楽が、自分にとってどのような価値があるのかといった評価を、根拠をもって述べるのが重要となる。そのためは、次に示す①から④までを明らかにできるように指導することが大切である。

- ① **音楽を形づくっている要素や音楽の構造**
- ② **特質や雰囲気及び曲想**
- ③ **①と②との関わり**
- ④ **気に入ったところ、他者に紹介したいところなど自分にとってどのような価値があるのかといった評価**

上記の①から④においては、④が評価であり、①②③が根拠となる。

(中学校解説 p.57、58)

24

☆終わりに

- ・ 題材全体を見通した指導と評価計画の作成。
- ↓
- ・ 生徒の学習改善や教師の指導改善へ。



25